

4月25日(日)に玉島文化センターで「創立60周年記念吟と舞のつどい」を開催

一般社団法人哲泉流日本吟詠協会中国地区支部連合

活動の目的

- ①会員の志気発揚。15年ぶりに会全体の発表会を開催することで、会員全体が生き生きと吟剣詩舞にとりくめるようにする。
- ②吟剣詩舞の魅力を普及する。吟剣詩舞を知らない方々にその魅力を知っていただく。
- ③詩吟の多様性を追求する。子どもたちに理解できる題材、漢詩や和歌だけでなく、多様な詩材とそれに相応しい多様な旋律・演奏形態を提案する。

活動の内容及び経過

- ①「50人のオーケストラと100人の混声合吟」という呼びかけに、4県120人が流派を超えて呼応し、譜面もでき、練習を進めたが、コロナ禍のため大人数の出演は断念した。練習を進める中で、会員の志気は大いに高まった。
- ②1年延期の大会では、プログラムの大幅組み替えを余儀なくされたものの、お客さまにとって魅力的な演目を組んだ。子どものための『アンパンマンになって扇子でおどろう』『桃太郎』、詩吟への新しい提案である、混声四重合吟『雨ニモマケズ』、お芝居と吟剣詩舞が渾然となった『維新の風』を上演した。

活動の成果・効果

- ①混声四重合吟『雨ニモマケズ』は、初めて詩吟と共演したピアニストに「音楽に対する姿勢が変わった」と言わしめたことを始め、上演後、聴衆から多くの好意的な反応があった。
- ②子ども番組『アンパンマン・・・』に出演した子どもたちは、その後詩吟や剣舞に興味を持つきっかけとなった。初めて吟剣詩舞にふれた観客は「有料公演にしたほうがいい」「他の人も誘えばよかった」と普及の効果を上げた。
- ③大会へ向けての練習を進め、上演後好意的な反応をいただく中で、会員の志気が大いに高まった。

今後の課題と問題点

- ①今回、コロナ禍で多くの制限の下で上演せざるを得なかった。早い機会に、原案通りのプログラムを上演したい。
- ②いいものを上演しようとすれば、多大の費用がかかる。自己資金だけでの上演は難しい。

- 代表者：河田千春 ●所在地：倉敷市玉島柏台
- TEL：086-522-1777 ●E-MAIL：chiharu@mx1.tamatele.ne.jp
- URL：https://tessen-chugoku-shigin.com
- 設立年：1961年 ●メンバー数：229名



オープニング『雨ニモマケズ』



『アンパンマンになって扇子でおどろう』



企画番組『維新の風』より砂鉄取りの男たちの歌『真金吹く』



『維新の風』より狂言回し役の三島中洲